

能登続落 効果及ばず

新幹線開業や「まれ」

能登の地価が続落している。市町別の基準地価の平均変動率は、七尾以北の全用途の下落率がいずれも3%以上で、回復が進む金沢市周辺とは対照的にマイナスが目立つ。北陸新幹線金沢開業やNHK朝の連続テレビ小説「まれ」の放送を追い風として、能登を訪れる観光客は前年より大幅に増え、経済効果が生まれ

石川県内市町の用途別平均変動率(%)、▲はマイナス

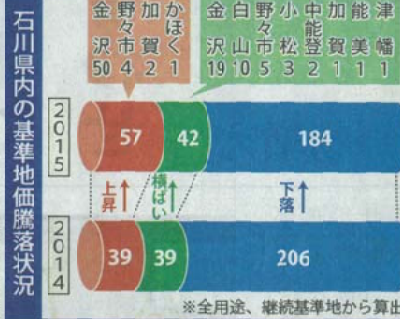
市 町	住宅地		商業地		全用途	
	15年度(14年度)	16年度(14年度)	15年度(14年度)	16年度(14年度)	15年度(14年度)	16年度(14年度)
金沢市	0.7(▲0.3)	4.4(▲0.7)	4.4(▲0.7)	1.9(▲0.0)	1.9(▲0.0)	1.9(▲0.0)
小松市	▲1.6(▲1.8)	▲2.8(▲3.2)	▲2.8(▲3.2)	▲1.8(▲2.2)	▲1.8(▲2.2)	▲1.8(▲2.2)
白山市	▲1.4(▲1.5)	▲2.7(▲3.8)	▲2.7(▲3.8)	▲1.6(▲2.1)	▲1.6(▲2.1)	▲1.6(▲2.1)
野々市市	0.9(▲0.2)	▲0.7(▲2.2)	▲0.7(▲2.2)	0.2(▲0.8)	0.2(▲0.8)	0.2(▲0.8)
内灘町	▲2.2(▲3.0)	▲2.8(▲2.8)	▲2.8(▲2.8)	▲2.3(▲2.9)	▲2.3(▲2.9)	▲2.3(▲2.9)
七尾市	▲2.1(▲2.8)	▲4.5(▲4.9)	▲4.5(▲4.9)	▲3.1(▲3.7)	▲3.1(▲3.7)	▲3.1(▲3.7)
輪島市	▲4.5(▲4.8)	▲3.9(▲4.6)	▲3.9(▲4.6)	▲4.2(▲4.7)	▲4.2(▲4.7)	▲4.2(▲4.7)
珠洲市	▲5.6(▲5.8)	▲5.9(▲5.6)	▲5.9(▲5.6)	▲5.5(▲5.5)	▲5.5(▲5.5)	▲5.5(▲5.5)
加賀市	▲2.2(▲2.6)	▲1.1(▲3.0)	▲1.1(▲3.0)	▲1.9(▲2.7)	▲1.9(▲2.7)	▲1.9(▲2.7)
かほく市	▲2.7(▲3.4)	▲3.4(▲3.8)	▲3.4(▲3.8)	▲2.7(▲3.7)	▲2.7(▲3.7)	▲2.7(▲3.7)
能美市	▲0.8(▲1.7)	▲2.0(▲2.0)	▲2.0(▲2.0)	▲1.5(▲2.1)	▲1.5(▲2.1)	▲1.5(▲2.1)
川北町	▲1.5(▲2.1)	▲2.1(▲2.6)	▲2.1(▲2.6)	▲1.5(▲2.2)	▲1.5(▲2.2)	▲1.5(▲2.2)
津幡町	▲1.5(▲1.5)	▲1.2(▲1.6)	▲1.2(▲1.6)	▲1.4(▲1.5)	▲1.4(▲1.5)	▲1.4(▲1.5)
志賀町	▲1.2(▲1.4)	▲3.1(▲3.0)	▲3.1(▲3.0)	▲1.7(▲1.9)	▲1.7(▲1.9)	▲1.7(▲1.9)
穴水町	▲3.6(▲4.5)	▲5.3(▲5.4)	▲5.3(▲5.4)	▲3.9(▲4.8)	▲3.9(▲4.8)	▲3.9(▲4.8)
能登町	▲5.0(▲4.0)	▲3.9(▲3.5)	▲3.9(▲3.5)	▲4.4(▲3.7)	▲4.4(▲3.7)	▲4.4(▲3.7)
宝達志水町	▲4.4(▲4.7)	▲4.7(▲5.3)	▲4.7(▲5.3)	▲4.5(▲4.9)	▲4.5(▲4.9)	▲4.5(▲4.9)
中能登町	▲3.2(▲3.3)	▲4.9(▲4.9)	▲4.9(▲4.9)	▲3.5(▲3.9)	▲3.5(▲3.9)	▲3.5(▲3.9)
中能登町	▲1.6(▲1.8)	▲3.0(▲3.1)	▲3.0(▲3.1)	▲2.0(▲2.4)	▲2.0(▲2.4)	▲2.0(▲2.4)

観光客増も人口減の影響大

半年で3%上昇

公示地価と共通14地点

今回の石川県内の基準地価は、北陸新幹線金沢開業後の地価動向を反映したデータとなる。1月時点の公示地価と共通する14地点の平均変動率を比べると、地価は半年間で3.0%上昇しており、回復のペースが



富山は21地点上昇
富山県の全用途平均は0.4%の下落となり、下げ幅は前年の0.6%から縮小した。地価が上昇した地点は前年比1増の21地点で、横ばいは15増の100地点となった。

富山市の全用途平均は前年の0.2%上昇から0.3%上昇となり、2年連続のプラスとなった。商業地は前年の0.3%上昇から0.9%上昇となった。住宅地も前年の0.1%下落から横ばいとなった。

高岡市の全用途平均は0.7%下落と前年の1.1%下落より下げ幅は縮小した。黒部市は前年の1.2%下落から1.1%下落にとどまった。

内装は、プロヴァンスをイメージした自然あふれる雰囲気仕上げる。自家用としてだけでなく、幅広い年代層に喜ばれるギフトとしての需要も見込む。

北陸初出店を記念し、人気の「ローズシリーズ」のシャワージェル、ボディミルク、ハンドクリームがオリジナルトリートバックに入った限定セットを先着で優待限定販売する。さらに、人気商品を詰め合わせた福袋も用意する。

金沢フォーラスはこれまでに、「ザ・ボディショップ」「ラッシュ」「マークスアンドウェーブ」「サボン」など、天然素材や手作りなど、自然派コスメブランドの導入を進めている。今回登場するロクシタンは「サボン」と売り場が近接しており、同館では来店客が売り場を巡ることも期待している。



ロクシタンの商品一例

北陸初ロクシタン導入

が完成を祝った。10月1日に開業する。客室31室で96人を収容し、宿泊代金に食事代や施設費は含まない。

文苑堂書店(高岡市)は北陸最大級 あすグランドオープン

16日、富山市豊田町2丁目の「富山豊田店」をアトレオープンした。写真。「文化の森」をテーマに約50万冊を取り扱い、北陸最大級の書店となる。18日にグランドオープンする。

富山豊田店は売り場面積が約5千平方メートル、1階は雑誌や文具、雑貨コーナー

があり、レンタルの「TS UTAYA」、コーヒーの「ドトル」も入る。2階は一般、専門書コーナーとなる。アトレオープンは近隣住民やカード会員、取引業者を対象に2日間実施する。吉岡隆一郎会長兼社長は「日本で一番良い書店に育てたい」と意気込んだ。17日は午前10時、18日以降は午前9時に開店する。18日は先着500人にドーナツを贈る。



損保ジャパン 損害保険大手、損害保険ジャパン日本興亜(東京)

濱氏は北陸本部長と損保本部長を務める。損保ジャパンは、12月から50人以上の事業所に義務付けられるストレスチェック制度に対応し、県内企業を対象